



黒猫を
抱きかかると
色気があふ
溢れる



俺が黒猫を
忘れられない

ADULT ONLY
2013.08

Presented by.
いちごぱんつ

俺が黒猫を
忘れたらあいつがやばい



こんにちは、カグユツです。

俺妹を見てすっかり虜になってしまいました。

初俺妹本なので、いろいろとドキドキしておりますが
個人的にドストライクな黒猫本だしてみました。

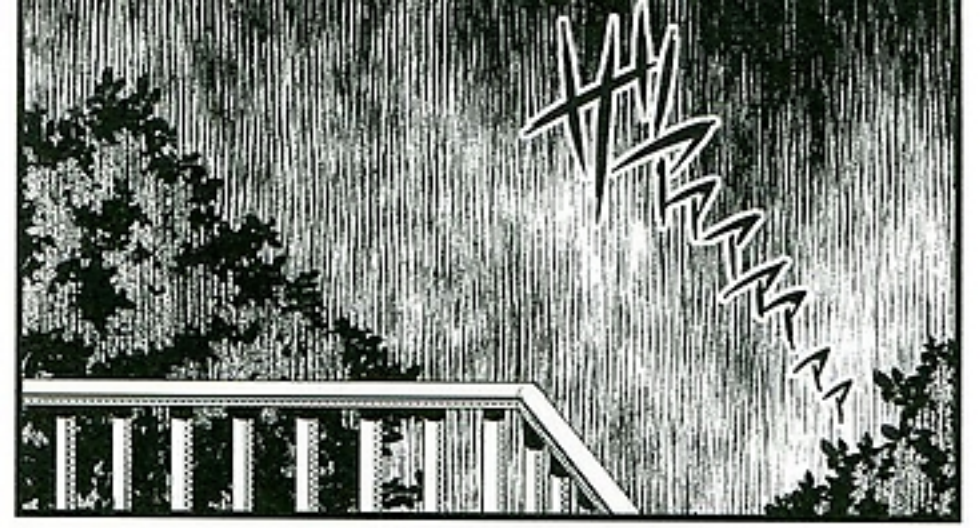
ちよつとしんみりとしたお話ですが

楽しんでいただけたら嬉しいです！



は...

ガキガキ



ザッザッザッ



こんな時間に誰だろ...

フクフク!



ガキ

ガキ

ザッザッザッ

...



おん



ちよつと
待ってろ



そのままじゃ
風邪ひいちゃう
からな

タオル出すから
それ使え…

カッ

カッ



おん



おまっ…!!
せめて脱ぐなら
風呂場で…

ズロッ

え…





やばい...これは
たまんねえ



柔らかくて
ふにふにの手の感触ががが!

は...!

は...!

うわっ...息がかかるっ

黒猫が
俺の触ってる...

これは
少し勃起
してるの?

うわっ...



うわ...すげーエロい顔

そんなに
俺と
したいのかよ



す...
は...!

す...
は...!

おちんちんって
こんな風に
勃つのね♡



じゃあ
フェラチオぐらい
知ってるよな



エロい黒猫見てたら
理性吹っ飛んでたらしい

あ……
ごめん……俺

さこのよ



んっむん

じゅわん

じゅわん

じゅわん



せめてわたしの
“初めて”は

京介が……
持っていて



わたしは……京介のこと
考えすぎて
もういっぱいいっぱい

あなたへの気持ちも
この体の想いも
限界だわ……

だから

あ……
あ……



俺も初めてだから
上手くてできるから
わからないぞ

ここか？

ええ

あっ……♡
そのまま来て

あ♡♡

あ……♡♡





恥ずかしいが…
もう出ちやい
そうだ

う…
膣の中って
こんなに温かくて
ぬるぬるして
るんだな



なんでそんな…
真っ直ぐ想えるんだよ

俺にそんな
価値なんて…



わたしは
京介と“初めて”を
交換できて

すごく幸せよ♡



ないのに

このまま
動くけど
少しガマン
できるか？

ん…♡



はー♡

はー♡

はー♡

うは…ッ
きついけどすげー
気持ちいい…

はー♡

やべー…
なんかちんこ
蕩けそう…

はー♡



乳首って
こんなコリコリに
なるんだな♡

うおっ：
おっぱい
やわらかい♡♡



うおっ♡♡

急に締まっ

はっ♡



ビーン



はっ♡

う…そんなに
ぎゅうぎゅうに
締め付けると

気持よすぎて
で…でるぞ



もしかして黒猫…
乳首弱いのか…？

うおっ♡

うおっ♡

あーっ

ごめんなさ...
イっちゃ...
う...ツ♡♡

俺も出して...ッ
い...いいか?

うん♡
なかに...♡
中に...お願い♡♡

13

あーっ♡♡♡♡
あーっ♡♡♡♡
あーっ♡♡♡♡

あーっ♡♡

あーっ♡

あーっ♡



翌朝……

黒猫は
恥ずかしそうに
していたが

でも何か
吹っ切れたように
嬉しそうに
帰って行った

14

わたしの願いは
変わってないし

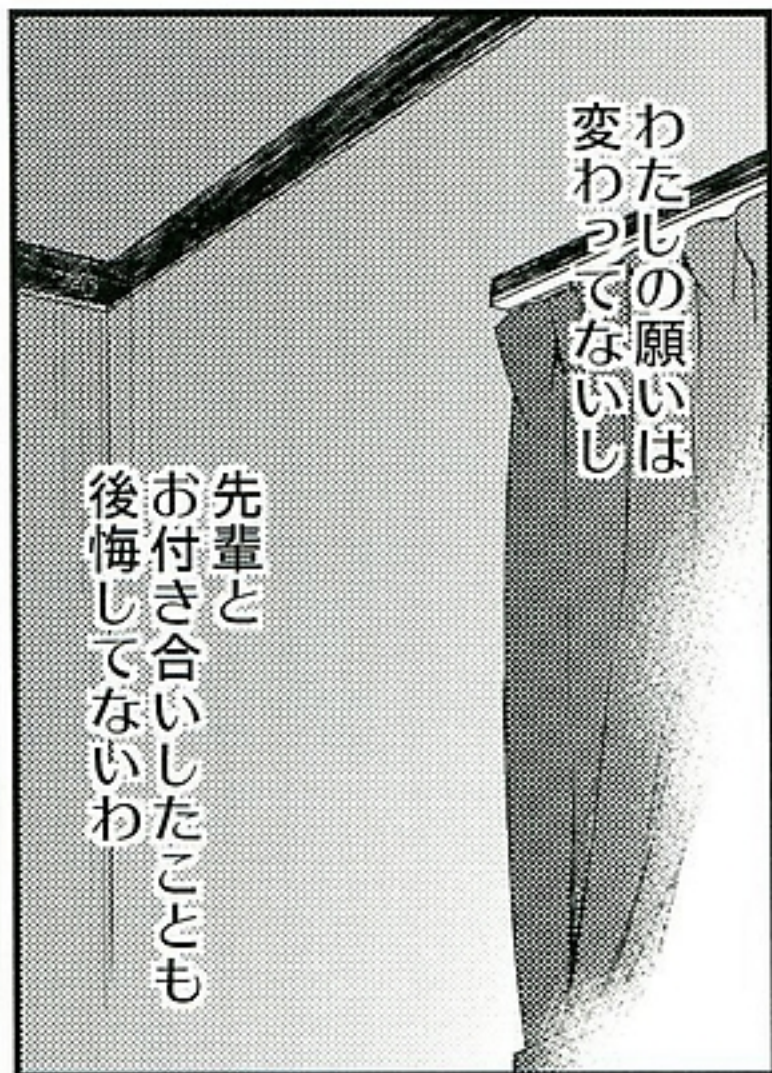
先輩と
お付き合いしたことも
後悔してないわ

そしてこの先も

あなたに対しての想いも
変わることはないでしょうね

だから
苦しかったり
辛くなったりしたときは

ガクガク





いつでも
わたしのところへ
来るといいわ

待ってるから

15



俺だって

黒猫を好きなき持ちは
いまも変わっていない

でも桐乃の事を考えると
この気持ちは整理しないと
いけないって……

そんなのわかってる

でも

そんなお前の事
忘れられるわけがないだろ

END

こちらはサンクワリで頒布したペラ本の内容になります。
少部数しか刷らなかつたので、思いのほか
読みたいと要望をいただくことがあつたので
今回再録することにしました。

ただひたすら黒猫がおなつてます。

それだけの内容ですが、楽しんでいただけたら幸いですー

黒猫がただ
妄想しなごら
オ○ニーする本





まったく…
わたしの胸を
触りたいなんて

でも
この年頃の
男子って
それが普通とも
聞くのよね

いずれは先輩と
そうなる覚悟は
持っていたわけだし

むしろ…
嬉しいわ



色々考えてたら
なんだかドキドキして
きてしまったわ

黒猫…

ぽんぽん
ぽん
そこは…



黒猫って
チクビ
弱いんだっけ？



もう
こんな
濡れてる

カキカキ

うわ...

あ...

ま...こて

ん

じゅわ

あ...



あ...

...

あ...

あ...あ...あ...



くく

あ...

せ、先輩...
だめ...え♡



ここもこんな
に勃起させて
るじゃん



黒猫って実は
かなりエッチ
だろ？
次から次へと
溢れてきてるぞ♡

ちが...♡



そんな...っ
激し...くうう♡♡

だいじっちや...
だ♡めええっ♡





は...は...は...
♡♡♡♡

は...は...は...
は...は...は...

は...は...は...

は



この本は成年向です。
18歳未満の方の購読・閲覧はご遠慮ください。

また、無断での複製・複写は禁止しております。
Web上へのアップロードや配布行為も
行わないようご協力ください。

24

奥付け

← 俺が黒猫を忘れられるわけがない

発行日： 2013年8月11日

発行： いちごぱんつ

発行者： カグユツ

e-mail : 19x4@kaguky.com

URL : <http://ichipan.kaguky.com/>

印刷所 : 栄光様

今作を最後まで読んでいただき、また、お手に取っていただき
誠にありがとうございます。楽しんでいただけたら幸いです。

俺妹つながりということで、
8月末に発売する「俺妹 公式アンソロジー 2巻」にも寄稿させていただきました。
こっちはメインは黒猫ですが、白猫バージョンで
少しでも可愛らしく描けたかなーと思います。
よかったらそちらも手に取ってみてください。

また今後の商業・同人活動についてはHPやTwitterの方で更新してるので
気になられた方はよろしくお願いします。

それではまたお会いできるのを楽しみに！